

## 第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成25年11月13日(水) 6校時

場 所 2年教室

児 童 男6名 女6名 計12名

指導者 小笠原 舞 子

- 1 単元名 むかし話を読み、お気に入りを読書ゆうびんでしょうかいしよう  
学習材 「かさこじぞう」東京書籍 2年下  
昔話20冊程度

### 2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「お気に入りを読書ゆうびんでしょうかいする」ことを位置づける。「読書ゆうびん」には、たくさんの昔話の中から好きな話を見つけ、題名、登場人物、お気に入りの場面と理由を書く。いろいろな昔話を読んで昔話に親しむとともに、そのおもしろさを「読書ゆうびん」で伝える活動を通して読書の幅を広げることができる。よって、「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むことができる」(読むことカ)を実現できるようにしている。

### 3 単元について

#### (1) 児童について

本学級の児童は、1年の10月に「おとうとねずみチロ」の学習で、「お話カード」におもしろいところとその感想を書く活動を通して、登場人物の様子や気持ちを読み取る学習をしてきている。2年生の6月には、学習材「お手紙」で人物の行動や気持ちに気をつけて読み、「読書発表会」を行い、行動や気持ちを叙述に即してとらえることができるようになってきている。しかし、読書傾向を見ると偏りがあり、読書の幅に広がりが見られない子が多い。また、児童はこれまでも昔話の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりしているが、昔話の世界に浸り、楽しんで読むまでには至っていない。さらに、語彙が乏しいために出てきた言葉からイメージを膨らませることができない児童も多い。よって本単元では、時代背景を知らせるとともに、昔話独特の表現、登場人物の行動や会話に着目して読ませることで昔話の世界に浸り、楽しさを味わいながら読む力を養っていききたい。

#### (2) 単元構成について

本単元で付けたい力は「楽しむために、いろいろな昔話を選んで読む力」である。そこで本単元では、いろいろな昔話を読んで昔話に親しむとともに、楽しんで読むための言語活動として「お気に入りを読書ゆうびんでしょうかいしよう」という言語活動を設定した。読書郵便に入れる要件は、題名、作者、登場人物、気に入ったところ、選んだ理由である。

第1次では、単元を貫く言語活動である読書郵便のモデルを提示して、言語活動の要件を確認し、学習の見通しをもたせる。

第2次では、学習材「かさこじぞう」を読み、自分のお気に入りの場面を選び、理由を考える。

第3次では、2次で学習してきたことを活用し、様々な昔話を読んだ中から好きな話を見つけ、そ

の話の気に入ったところとその理由を読書郵便に書き、紹介し合う。

本単元で使用する学習材は「かさこじぞう」（東京書籍2年下）である。「むかしむかし」で始まることに代表されるような昔話独特の表現や語り口を楽しむだけでなく、じいさまとばあさまの気持ちや生活の様子について想像を広げて読み、昔話の特徴をつかませる。

いろいろな昔話の中からお気に入りを選ぶ活動を通して、昔話をより深く味わわせ、昔話というジャンルにさらに親しませたいと考える。これらのことから、今回の学習に適した学習材であると考えた。

### (3) 指導について

第1次では、昔話の読み聞かせを聞いたり、読んだりした経験を出し合い、昔話に興味をもたせる。その後、昔話の読み聞かせをし、好きなところなどの感想を発表させる。子どもたちの発表と絡めながら、「読書郵便」のモデルを提示し、気に入ったところとその理由を書いて紹介するというゴールのイメージをもたせる。

他の作品も読みたいという意欲をもたせるために昔話コーナーを設け、並行読書のブックリストを渡す。読書量の差が激しい学級なので、必読の話を設定し、どの子も最低でも8話は読み終えるよう意欲を持たせ支援する。

第2次では、学習材「かさこじぞう」を4つの視点を手がかりにして読ませ、自分の気に入ったところを選ばせる。さらにその理由を考える学習をする。

まず、「かさこじぞう」の読み聞かせをし、挿絵の並べ替えにより、話の大体をつかませる。また、場面ごとに出来事を1文（だれがどこでどうした場面）で表すようにさせる。既習事項ではあるが、話の内容を短く書き表すことが困難な児童もおり、読書郵便に気に入ったところを書く活動にもつながるため丁寧に扱う。

次に、全体を繰り返し通読させ、気に入ったところを選び、その理由を入れて読書郵便を書かせる。理由は①昔話特有の言い回しがおもしろい②会話（言ったこと）や行動（したこと）がおもしろい③展開がおもしろい、という3つのうちのどれに当たるのか類別させる。同じ学習方法を3時間繰り返すことで、子どもたちはやり方がわかり、学習への安心感をもたせることができる。さらに、全体で交流することで、昔話のおもしろさを見つけさせていく。最後に「かさこじぞう」の気に入ったところを読書郵便にまとめさせる。

1単位時間の最後には、学んだやり方を並行読書の本についても試してみる時間を設け、3次につなげていきたい。

第3次では、2次で学んだことの活用と位置付け、並行読書をしてきた中からお気に入りの昔話を選び、読書郵便に気に入ったところと理由を書き、紹介し合う。互いの感じ方や考え方の違いを知り、認め合うことで読みを深めていきたい。そして、友達の紹介を聞き、その本を手にとって読みたいと思う意欲をもたせたい。

単元の最後に、1年生に読書郵便を出し、紹介することで、自分の選んだ昔話に対する愛着を深めることにつなげていきたい。

#### 4 単元の指導目標

- 物語に描かれている世界に浸りながら昔話を読み、大好きな作品や場面を見つけて、楽しんで読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
- ◎いろいろな昔話を登場人物の行動や会話に着目して想像を広げて読むことができる。(読むこと)
- いろいろな昔話を読んだ上で、紹介したい話を選んで紹介することができる。 (読むこと)
- 昔話の独特の語り口調、言い回しなどに気づき、昔話に親しむことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

#### 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○自分の大好きな作品や場面などを見つけて楽しんで読もうとしている。	◎いろいろな昔話を読んだ上で、紹介したい話を選んで読んでいる。(カ) ○登場人物の行動や会話、言い回しなどに着目して読み、想像を広げて読んでいる。(ウ)	○昔話の独特の語り口調、言い回しなどに気づき、昔話に親しんでいる。 (ア (ア))

#### 6 本単元の読みの視点

- (1) 「だれがどうした」をとらえ、話の大体をつかむこと。
- (2) 行動や会話に着目して読み、気持ちや様子を想像すること。
- (3) 昔話独特の語り口調、昔ながらの言い回しに着目すること。
- (4) 好きなお話や好きな場面を選ぶこと。

#### 7 単元の指導計画 (全12時間扱い)

【本単元につながる学び】				
目 標		様子を思い浮かべながらいろいろな楽しいお話を読み広げる。		
指導事項		楽しんだり、知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。		
言語活動		お話カードでおもしろいところを紹介しよう		
学習材		「おとうとねずみチロ」東京書籍 1年下		
次	時	主な学習活動	並行読書	指導上の留意点 (・) と評価 (◇)
1	1	○昔話の読み聞かせを聞き、感想を発表する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔話の絵を見て、読んだことのある本を発表させる。</li> <li>・出された昔話を内容ごとに分けていく。(おじいさんとおばあさんの話、鬼退治の話など)</li> <li>・読み聞かせをし、挿絵を頼りに、おもしろかったところや好きなところを発表させる。</li> <li>・並行読書のブックリストを配布する。</li> </ul> ◇昔話に興味をもち、読み聞かせを楽しんで聞いている。 (観察)

	2	○昔話の読み聞かせを聞き、感想を発表する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔話の読み聞かせをする。前時とは違う内容の昔話を読み聞かせる。</li> <li>・挿絵を頼りに、おもしろかったところや好きなところとその理由を発表させるようにする。</li> <li>・同じ話でも書きぶりの違うものを用意し、様々な語られ方があることに気づくようにする。</li> </ul> <p>◇昔話に興味をもち、読もうとしている。(観察)</p>
	3	○教師の読書郵便のモデルを見て、言語活動のイメージをもつ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書郵便のモデルを掲示し、単元のゴールを明確にし、学習計画を立てられるようにする。</li> </ul> <p>〈理由〉①昔話特有の言い回し (赤) ②会話や行動がおもしろい (黄) ③展開がおもしろい (青)</p> <p>◇読書郵便の書き方を知り、学習の見通しをもつことができている。(発言、観察)</p>
2	4	○「かきこじぞう」の読み聞かせを聞き、挿絵の並べ替えをし、大体の内容をつかむ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の読み聞かせを聞いて、挿絵を並べ替える。</li> <li>・時や場所、登場人物、境遇が変わるところを手がかりに場面分けを行う。</li> </ul> <p style="text-align: center;">視点 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物、「だれがどうした」を場面ごとに一文にまとめることができるようにする。</li> </ul> <p>◇大体の内容を理解している。(発言・ワークシート)</p>
	5・6・7 本時	○全文を通読し、視点にそって、気に入ったところを見つけ、その理由を考え発表する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人学びで様子や気持ちを想像させ、気に入ったところを見つける。</li> <li>・読書郵便を書き、ペアやグループで交流させる。</li> </ul> <p>〈理由〉①昔話特有の言い回し (赤) ②会話や行動がおもしろい (黄) ③展開がおもしろい (青)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で発表させ、理由①②③を分類し、シールを貼る。</li> </ul> <p>3時間繰り返すことで、自分でも観点の分類ができるようにさせたい。(第7時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだところを音読して昔話特有の言い回しやおもしろさを味わう。</li> </ul> <p style="text-align: center;">視点 (2) (3) (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並行読書のお話にもふれる。</li> </ul> <p>◇想像を広げて読み、気に入ったところを選んでいる。(発表・シート)</p>
	8	○「かきこじぞう」の「読書郵便」を発表し合う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発表を聞き合い、互いの感じ方や考え方を認め合ったりして読みの世界を広げる。</li> </ul> <p>◇友達の発表を聞き、互いの感じ方や考え方を認め合ったりして読みの世界を広げている。(観察・発表・ノート)</p>

3	9	○他の昔話から気に入ったお話とその場面を選び、読書郵便を書く。		・読んできた昔話の中からお気に入りを選び、読書郵便を作成し、発表し合う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点(1)(2)(3)(4)</span>
	10	○友だちと紹介し合い、感想を述べる。		◇お気に入りの作品を選んでいる。(発表・シート) ◇友だちの発表を聞き、昔話のもつおもしろさや特徴に気づき、進んで読もうとしている。(発言・態度)
	11	○1年生に紹介する。		・読書郵便を読んで、昔話を紹介する。 ◇選んだ作品に対する思いが伝わるように、本の楽しさを紹介しようとしている。(観察) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点(2)(3)(4)</span>

【本単元がつながる学び】

目 標	おもしろさを味わいながら、世界の民話を読み広げる。
指導事項	目的に応じて、いろいろな本を選んで読むこと。
言語活動	民話びょうぶで民話のおもしろさを紹介する
学習材	「木かげにごろり」東京書籍 3年下

8 本時の指導

(1) 目標

昔話の気に入ったところを見つけ、理由を考えることができる。

(2) 展開

時間	主な学習活動	主な発問 (○) と指示 (△)	指導上の留意点 (・) と評価 (◇)
つかむ 5分	1 前時までの学習を想起し、本時の課題を確かめる。 気に入ったところを見つけ、理由を考えよう。		・学習計画に沿って、本時の学習課題の確認をする。 ・学習の流れを確認する。 ・本時の視点を確認する。
ふかめる 25分	2 全文を通読し、気に入ったところを見つけ、読書郵便を書く。 ・一人学びで気に入ったところとその理由を見つける。 ・ペアで話し合う。	○気に入ったところ (おもしろい、心に残るなど) を見つけましょう。理由も考えましょう。 △どの理由か考えてシールをはりましょう。	・一人学びでサイドラインを引きながら読ませ、気に入ったところを見つけさせる。 ・読書郵便を書かせる。考えた理由はどの観点かを自分で分類しシールをはらせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">         〈理由〉          ① 昔話特有の言い回しがおもしろい (赤)          ② 会話 (言ったこと) や行動 (したこと) がおもしろい (黄)          ③ 展開がおもしろい (青)       </div> ・ペアで理由の観点を話し合い、自信を持たせる。また、書けなかったところを尋ねたり、感想を話したりし、読書郵便を仕上げる手立

			<p>てとさせたい。</p> <p>&lt;評価規準&gt;</p> <p>◇ 昔話の気に入ったところを見つけて、理由を考えている。</p> <p>支 言語活動のモデルを読ませ、似ているようなところはないか探させる。もう一度視点の確認をする。</p>
ま と め る ・ ひ ろ げ る 15 分	<p>3 全体で発表し、まとめをする。</p> <p>4 並行読書をしている昔話でも考えてみる。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>△読書郵便を発表しましょう。理由が何色か考えながら聞きましょう。</p> <p>○並行読書をしている本の気に入ったところを見つけてみましょう。</p> <p>○今日の学習の振り返りをしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で発表し合う際、理由がどの観点なのか意識して聞かせ、理由に沿っておもしろさを類別する。</li> <li>気に入ったところを見つけられたことで読書への意欲につなげる。</li> <li>視点に沿って読めば並行読書をしている昔話でも気に入ったところを見つけられることにふれる。</li> <li>本時の学習でわかったことやできたことなどを振り返らせる。</li> <li>見つけられなかった理由にも気付かせる。</li> <li>次時は書きためた読書郵便の中から、発表したいものを選び、紹介し合うことを伝える。</li> </ul>

(3) 板書計画

